

合併の選択は行財政運営に
生かされているのか

Q 10年を経過しての検証した市政運営を問いたい。平成の大合併で豊かになったのか。合併しなければ自治体の財政は成り立たないとして合併した後のメリットとデメリットを行財政運営に生かしているか。

A 地域医療提供体制を充実するための小見川総合病院の建て替えや、おみがわこども園の整備、佐原駅・小見川駅広場の整備、城山第2浄水場等水道施設の更新・統合、また組織のスリム化による業務効率の向上も合併により可能となりました。今後、合併特例等の優遇措置がなくなると、行財政運営が厳しくなると想定しています。現在、実施している事業の見直しや廃止等も含め、行財政改革を強力に進め、着実かつ堅実な行財政運営に努めていきます。

Q 市の財政需要が大きく減少したことによる交付税改革の問題点をどのように見ているか。

A 合併により面積が拡大する等、市町村の姿が大きく変わる中で、合併時点では想定されていなかった財政需要、支所経費、消防等の見直しにより一定の改善がなされた



おの かつまさ
小野 勝正議員

ものと考えています。

Q 補助金・物件費は財政を圧迫し硬直化の原因となる。見直しは。

A 現補助金は、香取市補助金等審査委員会での補助事業の評価と補助制度の検討をしています。物件費は、人件費が減額となる一方、業務委託料は部分的に増加します。公務員が直接行う必要性、市民サービスに与える影響やコスト等を考慮し、民間に委ねることで事業の効率化やサービスの向上が図られるものは、指定管理者制度や民間委託を積極的に推進していきます。

働き方改革について
教職員の実態を問う

Q 小・中学校の教職員の勤務実態は厚生労働省の過労死認定として示す月80時間超の時間外勤務に相当するところがあるが、実態は。

A 市で独自に調査したデータはありませんが、学校訪問での聞き取りの結果はおおむね文部科学省の調査と同様の状況と認



くぼ き そういち
久保木 宗一議員

し、子どもたちがすくすくと成長できる環境を整えるべきでは。

A 正規職員の保育士の雇用は、退職者数の推移、公立保育所の保育需要や統廃合、民間委託などを見極めながら人事担当部署である総務課と協議を行い計画的に採用しています。臨時職員の待遇改善は臨時職員全体の問題となるため、総務課と協議をしています。希望に即した勤務時間の適用を含みますが、他の自治体と比較しながら毎年賃金の見直しを行っており、平成30年度も引き上げを行う予定です。

非正規職員の待遇改善を

Q 非正規職員は、時給1100円台とのことだが、1年ごとの昇給はあるのか。

A 定期昇給はありません。

Q このような厳しい待遇で保育士を募集して集まるのか。

識しています。
Q 標準職務の明確化で、役割分担が明確化となった内容とは。
A 教師の業務で負担軽減が可能な業務として、学校行事の準備・運営、支援が必要な児童・生徒、家庭への対応等です。また、調査・統計への回答、部活動等が示されました。基本的には学校が担う業務は、学校徴収金の徴収・管理や登下校の対応です。市では、給食費の徴収を口座振替としていて、督促等は、給食センターで対応しています。

Q 実現に向けた事業予算は新年度予算編成に反映されているか。
A 市が独自に、少人数指導教員を小学校4人、中学校1人、養護補助教員を小学校1人、中学校3人、特別支援教育支援員を小学校42人、中学校3人、学校事務員を小学校1人、中学校1人、学校図書館事務を小学校2人等の人的配置を予定しています。



地域医療の充実を図る小見川総合病院建て替え工事

保育士の待遇改善を

Q 市の保育所、こども園の正規職員は、非正規職員よりも少なく、非正規職員の待遇は大変厳しい状態にある。これでは非正規職員の労働意欲が減退し、より良い保育が望めなくなるのではないか。子どもの命を預かる保育士待遇の合理化は行き過ぎである。正規職員数の増加、非正規職員の待遇改善を

正規職員数の増加を

A 全国的に保育士需要がひっ迫している現状です。ことから、募集数を集めるのに苦慮している現状です。

Q 市の正規と非正規の待遇の格差は大問題で、このようなひどい状況では集まらないのは当然である。改善策はないのか。
A 平成30年4月からは、任期付職員を採用することで正規職員数を確保します。任期付職員は、任期の制限があるだけで、待遇は一般職の職員と同じです。



十分な保育を提供するには保育士の確保が必須である